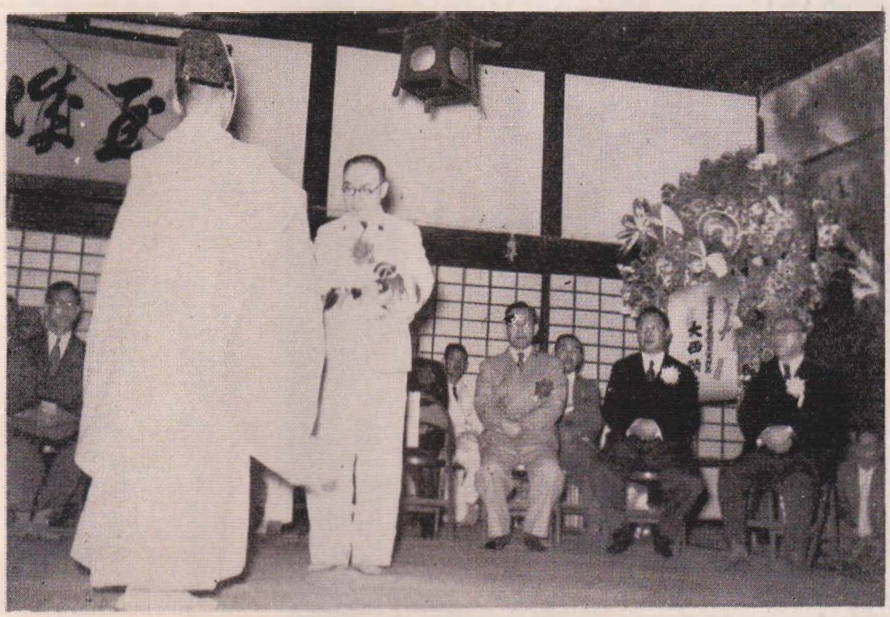
昭和27年6月、掃海殉職者顕彰碑が当時の内閣総理大臣吉田茂の揮毫により、当宮旭ヶ岡に建立されました。第二次大戦後、日本近海に敷設された膨大な数の機雷を掃海作業中に不幸にして命を落とされた愛国の士79名のお名前を刻んでおります。

昭和27年より毎年5月に「掃海殉職者慰霊祭」を斎行。

下記の写真は昭和27年発行の「こと比ら」夏の号より抜粋しました。



掃海殉職者顕彰碑
境内旭ヶ岡に建立

終戦後、日本近海に於ける航路安全宣言を尊い礎として散つた掃海殉職者七十七柱の偉績を永久に讃える「顕彰碑」が海にゆかりの金刀比羅宮境内旭ヶ岡の一角に此程見事に建立された。

この碑の建立は瀬戸内海國立公園観光事業促進協議会長岸田幸雄氏（兵庫縣知事）をはじめ一府十縣の知事、三十二都市の市長が発起人或は世話人となり、海上保安廳の幹部が準備委員となつて出來たもので、碑石は高さ一丈五尺、幅八尺重さ三千五百貫という偉大なもので、碑文は「掃海殉職者顕彰碑」とあり吉田首相が揮毫されたものである。

建設工事は總工費二百五十万円で桂組の手になり、梅雨期の関係から予定期日より遅れた爲、六月二十三日午前十時より先ず慰霊祭が行われた。折柄のダイナ台風の影響で当日雨天の爲祭場を当宮崇敬講社本部に移し、琴陵宮司斎主となつて執り行い、祭主岸田兵庫縣知事、運輸大臣代理山口船員局長、柳沢海上保安廳長官、地元世話人金子香川縣知事、遺族五十余名をはじめ関係者四百名が参列して厳粛に行われた。

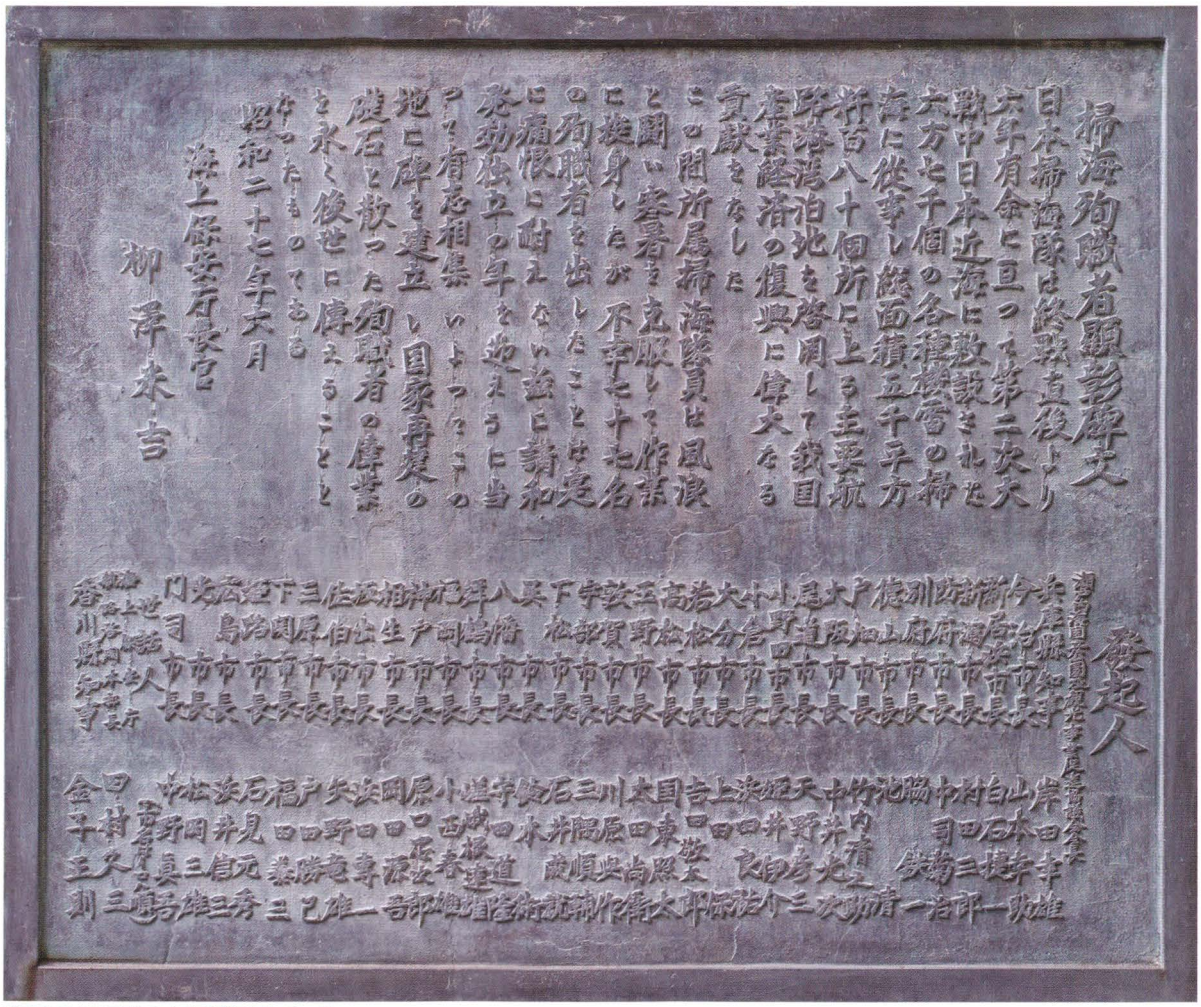
またこの日、呉から派遣された海上保安廳第六管区掃海隊員百五十名が「掃海隊の歌」「海上保安の歌」を合唱、いまはなき僚友の霊を慰め、遺族達の新しい涙をそゝつた。

ついで建立全く成つた七月七日、山崎海上警備隊總監、金子香川縣知事ら多数参列して之れが除幕式が盛大に行われた尚、参列の遺族の要望に依つて毎年五月二十七日に慰霊祭が執り行われることになつた

（写眞は柳沢海上保安廳長官の玉串奉奠）

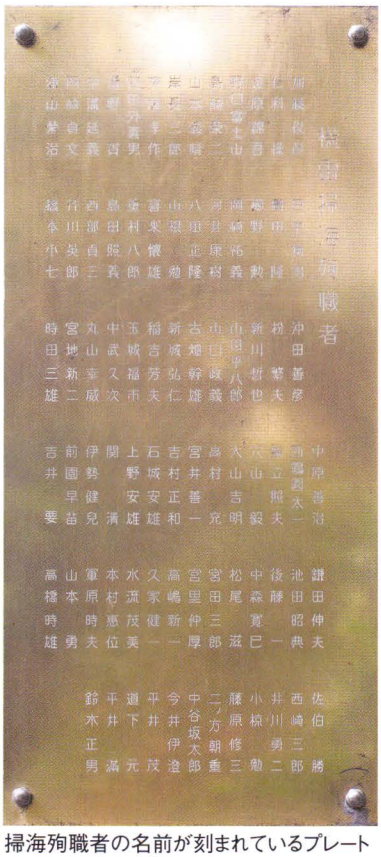


境内旭ヶ岡に建つ掃海殉職者顕彰碑（正面に、掃海殉職者顕彰碑 昭和二十七年六月 内閣総理大臣 吉田 茂書とある）



背面にはこの碑の由来が記されている


顕彰碑背面



掃海殉職者の名前が刻まれているプレート

機雷掃海殉職者名簿

神奈川県横浜市	昭和20年　8月30日	中　尉	加藤俊彦
静岡県志太郡	昭和20年　9月17日	水　長	仁科　操
茨城県鹿島郡	昭和20年　9月28日	一　曹	金原錦吾
福井県南條郡	昭和20年　10月　5日	兵曹長	野口富士山
長野県下伊那郡	昭和20年　10月　5日	上　曹	島崎榮二
新潟県佐渡郡	昭和20年　10月　5日	上主曹	山本義晴
山　形　県	昭和20年　10月　5日	上主曹	浦山榮治
富山県中新川郡	昭和20年　10月　5日	一　曹	岡崎貞文
京都府京都市	昭和20年　10月　5日	一　曹	岸　長三郎
山形県西村山郡	昭和20年　10月　5日	一　曹	齊藤孝作
石川県能美郡	昭和20年　10月　5日	一主曹	西田外喜男
新潟県長岡市	昭和20年　10月　5日	一衛曹	清野　實
京都府京都市	昭和20年　10月　5日	二　曹	中溝延義
山口県阿武郡	昭和20年　10月11日	上　曹	田中梅男
愛知県半田市	昭和20年　10月11日	二　曹	廣田　隆
広島県福山市	昭和20年　10月11日	機兵長	櫛野　勲
岡山県邑久郡	昭和20年　10月11日	水　長	岡崎祐義
広　島　県	昭和20年　10月11日	水　長	河井康樹
兵庫県武庫郡	昭和20年　10月11日	水　長	八田正隆
島根県鹿足郡	昭和20年　10月11日	水　長	山根　勉
徳島県鳴門市	昭和20年　10月26日	機　長	喜來懐雄
長崎県壱岐郡	昭和20年　10月26日	機　長	重村八郎
大分県北海部郡	昭和20年　10月26日	水　長	島田照義
東京都目黒区	昭和20年　11月16日	中　佐	西部貞三
東京都北多摩郡	昭和20年　11月16日	大　尉	芥川英郎
熊本県天草郡	昭和20年　11月16日	大　尉	橋本小七
鹿児島県熊毛郡	昭和20年　11月16日	中　尉	沖田善彦
大分県下毛郡	昭和20年　11月16日	機曹長	枌　繁夫
鹿児島県日置郡	昭和20年　11月16日	上　曹	新川哲也
佐賀県佐賀郡	昭和20年　11月16日	上　曹	山田平太郎
鹿児島県伊佐郡	昭和20年　11月16日	上機長	山口政義
福岡県京都郡	昭和20年　11月16日	上機長	古畑幹雄
沖縄県国頭郡	昭和20年　11月16日	上機長	新城弘仁
福岡県三井郡	昭和20年　11月16日	一　曹	稲吉芳夫
沖縄県国頭郡	昭和20年　11月16日	一　曹	玉城福市
宮崎県児湯郡	昭和20年　11月16日	一　曹	中武久次
	昭和20年　11月16日	一　曹	丸山幸威

鹿児島県鹿屋市	昭和20年 11月16日	一　曹	宮地新二
佐賀県杵島郡	昭和20年 11月16日	一機曹	時田三雄
鹿児島県日置郡	昭和20年 11月16日	一機曹	中原善治
宮崎県西諸県郡	昭和20年 11月16日	一機曹	西鶴園太一
鹿児島県肝属郡	昭和20年 11月16日	一機曹	紫立照夫
宮崎県西臼杵郡	昭和20年 11月16日	二機曹	穴山　毅
鹿児島県大島郡	昭和20年 11月16日	二機曹	大山吉明
長崎県東彼杵郡	昭和20年 11月16日	主兵長	高村　充
愛媛県喜多郡	昭和20年 11月16日	水　長	宮井善一
長崎県長崎市	昭和20年 11月16日	水　長	吉村正和
愛媛県北宇和郡	昭和20年 11月16日	機　長	石城安雄
愛媛県喜多郡	昭和20年 11月16日	機　長	上野安雄
新潟県南魚沼郡	昭和20年 12月 4日	雇　員	関　清
長崎県佐世保市	昭和21年　1月25日	第二復員官	伊勢健児
鹿児島県川辺郡	昭和21年　1月25日	第二復員官	前園早苗
鹿児島県薩摩郡	昭和21年　1月25日	復員官補	吉井　要
鹿児島県揖宿郡	昭和21年　1月25日	復員官補	鎌田伸夫
福岡県嘉穂郡	昭和21年　1月25日	一飛曹	池田昭典
大分県北海部郡	昭和21年　1月25日	復員官補	後藤　一
広島県呉市	昭和21年　1月25日	復員官補	中森寛己
佐賀県藤津郡	昭和21年　1月25日	復員官補	松尾　滋
宮崎県北諸県郡	昭和21年　1月25日	復員官補	宮田三郎
沖縄県国頭郡	昭和21年　1月25日	復員官補	宮里仲厚
香川県大川郡	昭和21年　1月25日	復員官補	高島新一
福岡県朝倉郡	昭和21年　1月25日	雇　員	久家健一
宮崎県東諸県郡	昭和21年　1月25日	雇　員	水流繁美
沖縄県国頭郡	昭和21年　1月25日	雇　員	本村惠位
鹿児島県川内市	昭和21年　2月18日	雇　員	軍原時夫
宮城県仙台市	昭和21年　5月 7日	復員事務官	山本　勇
兵庫県宍粟郡	昭和21年　8月 2日	復員事務官	高橋時雄
山口県下関市	昭和23年 12月20日	復員事務官	佐伯　勝
山口県下関市	昭和24年　5月23日	運輸事務官	西崎三郎
岐阜県岐阜市	昭和24年　5月23日	運輸事務官	井川勇二
静岡県浜松市	昭和24年　5月23日	運輸事務官	小椋　勉
島根県大原郡	昭和24年　5月23日	運輸事務官	藤原修三
鹿児島県薩摩郡	昭和25年　4月20日	運輸事務官	二ノ方朝重
山口県大島郡	昭和25年 10月17日	運輸事務官	中谷坂太郎
群馬県多野郡	昭和26年　3月 6日	海上保安官	今井伊澄
大阪府豊中市	昭和26年　6月13日	海上保安官	平井　茂
大阪府大阪市	昭和27年　2月 6日	海上保安官	道下　元
愛媛県大洲市	昭和38年　5月26日	海　士　長	平井　満
福島県郡山市	昭和20年 10月11日	徳山防備隊直島丸	鈴木正男